

東北地方太平洋沖地震
被災地の皆さまにこころよりお見舞い申し上げます

2011年3月14日

特例社団法人 日本精神科看護技術協会
会 長 末 安 民 生

2011年3月11日午後2時46分頃、三陸沖を震源地とした東北地方太平洋沖地震は、かつて体験をしたことのない大地震とそれに伴う津波により、東北各県および北関東を中心に、広範囲の災害をもたらしました。その後、報道される被災地の状況は目を覆う惨状であり、ただただ皆さまのご無事を祈るのみの状況となっております。現時点でも行方不明の方々の捜索、避難されている方々の生活も大変な状況であり、被災された皆さまの心の中はいかばかりかところが痛みます。

この災害で命を落とされた方々へこころより哀悼の意を表します。また、被災者の皆さま、関係者各位へこころよりお見舞い申し上げます。

特例社団法人日本精神科看護技術協会では、当協会の災害マニュアルに則って、被災された地域の支部と連携をとり、あらゆる措置を講じていく所存です。また、災害の大きさを鑑み、本日災害対策本部を設置いたしました。会長を本部長として、協会の総力をあげ、支援して参ります。

初動支援として、11日から夜間を含め、被災地の情報収集を支部事務局、会員から収集を続けております。また、本日、全国の支部に対して、支援と協力体制を要請いたしました。今後は義捐金を募る準備を行います。

今後、被災地の状況が落ち着いた段階で、私どもの専門領域であるこころのケアについて、被災地で展開できるよう、厚生労働省や独立行政法人国立病院機構（NCNP）とも連携をとり、こころのケアチーム派遣への参加を調整して参ります。

今後の協会支援活動に関しましては、適宜協会ホームページおよび支部事務局へFAXによる連絡を行い、広く皆さまへお伝えして参ります。

なお、被災状況に関する情報提供や被災地へのお見舞い連絡など協会では情報を一元化し、すべて下記の災害対策本部へお願いします。

特例社団法人日本精神科看護技術協会
災害対策本部

〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル 7F
TEL03-5796-7033 FAX03-5796-7034
E-mail:saigai@jpna.or.jp